資料２

市民生活の現状および満足度についての
アンケート調査報告書

平成２９年７月　　熊谷市総合政策部企画課

１　調査の趣旨

本市は現在、将来都市像「川と川 環境共生都市 熊谷」を目指し、総合振興計画に基づき、各施策に取り組んでいます。

総合振興計画は、基本構想（H20～H29）、基本計画（前期 H20～H24・後期 H25～H29）及び実施計画（毎年）で構成されています。

平成 28 年度は、後期基本計画 4 年目となります。基本構想に示された将来都市像の実現のため、後期基本計画の施策に堅実に取り組んでまいりました。

総合振興計画には、まちづくりの進み具合を測るための「ものさし」として「成果指標」を設定しており、この「成果指標」には、統計などの客観的なデータから把握する数値と、市民アンケートにより把握する数値があります。

このたび、市民アンケートにより把握する数値について、市民の皆さまにアンケートをお願いし、それぞれの施策の重要度、満足度をうかがいました。今後の熊谷市のまちづくりに生かすための資料として活用させていただきたいと思います。

２　調査の概要

平成 29 年 2 月中旬、18 歳以上の市民から無作為に抽出した 3,000 人にアンケート調査表を郵送し、返信用封筒による郵送で回収しました。

アンケートの回収数は 1,089 通、回収率は 36.3％でした。

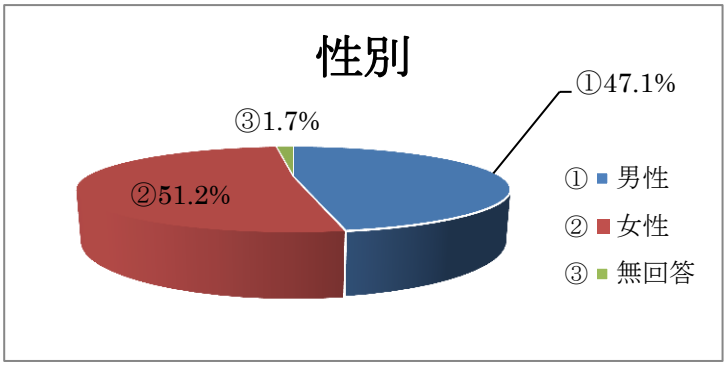
※注１　割合を四捨五入して表示しているため合計が 100%にならない項目があります。

※注２　表の数値及びグラフの単位の記載の無い数値は人数です。

3　回答者属性について

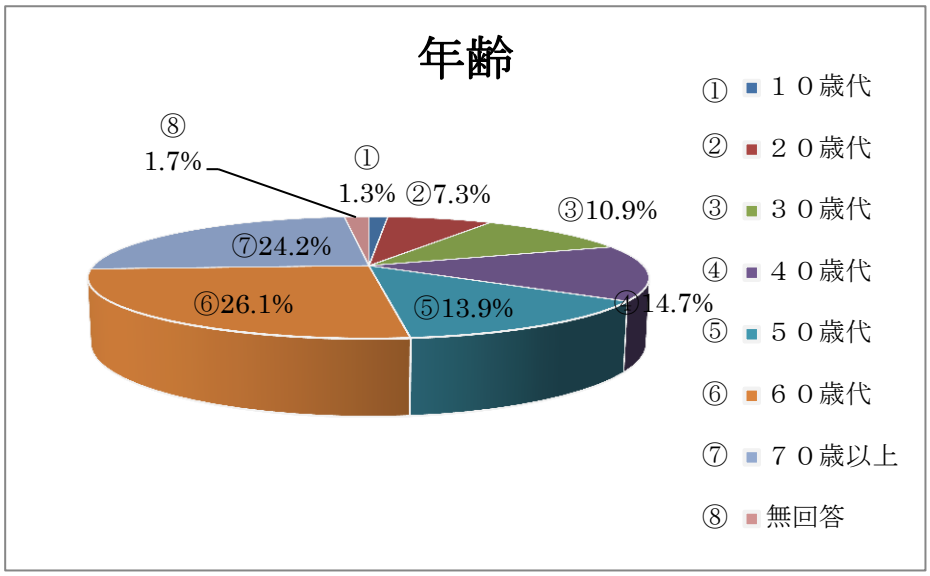
⑴　性別

男　性	513
女　性	557
無回答	19
合　計	1,089



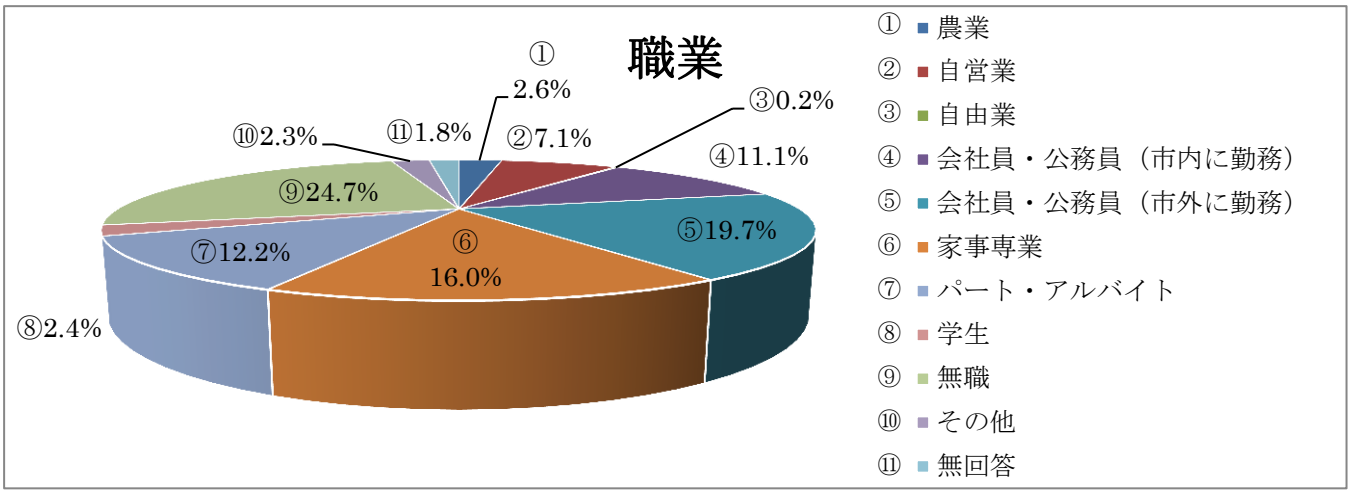
⑵　年齢

１０歳代	14
２０歳代	79
３０歳代	119
４０歳代	160
５０歳代	151
６０歳代	284
７０歳以上	263
無回答	19
合　計	1,089



⑶ 職業

農業	28	パート・アルバイト	133
自営業	77	学生	26
自由業	2	無職	269
会社員・公務員（市内に勤務）	121	その他	25
会社員・公務員（市外に勤務）	214	無回答	20
家事専業	174	合　　計	1,089



⑷　居住地区

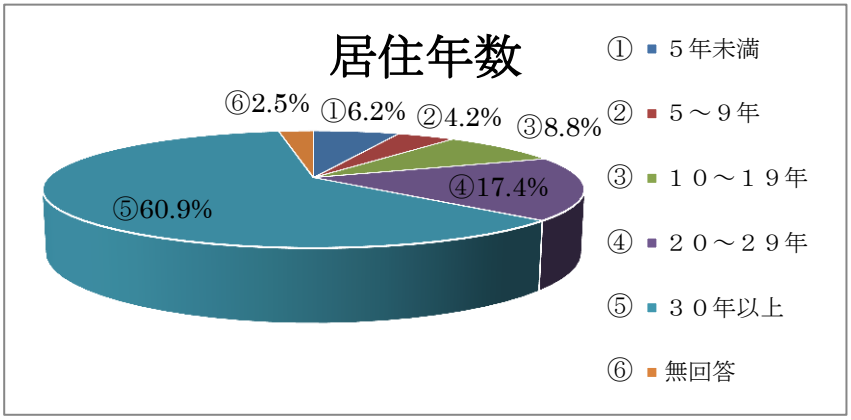
地　区	小学校区	回答数
中央地区Ⅰ	熊谷東・熊谷西小学校区	160
中央地区Ⅱ	熊谷南・石原・桜木小学校区	130
東部地区	成田・佐谷田・久下・星宮小学校区	122
西部地区Ⅰ	玉井・別府・新堀小学校区	128
西部地区Ⅱ	大麻生・三尻・籠原小学校区	127
北部地区	大幡・中条・奈良小学校区	106
吉岡地区	吉岡小学校区	33
大里地区	市田・吉見小学校区	42
妻沼地区	妻沼・男沼・太田・長井・秦・小島・妻沼南小学校区	143
江南地区	江南北・江南南小学校区	61
わからない		0
無回答		37



※この地図は、市内各小学校の校区で区分してあります。

⑸　熊谷市に住んでからの年数

5 年未満	68
5～9 年	46
10～19 年	96
20～29 年	189
30 年以上	663
無回答	27
合計	1,089



４　アンケート集計結果

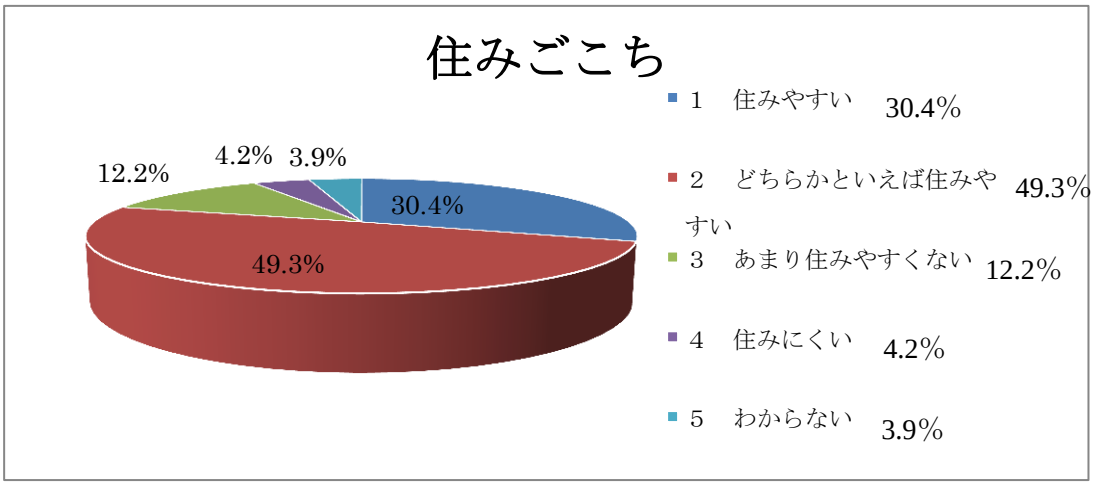
Ⅰ　住みごこちや市政への関心についてうかがいます

概要

・「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせると 79.7%の人が住みやすく感じており、「続けて住みたい」と「できれば続けて住みたい」を合わせると 80.7%の方が続けて住みたいと考えています。
・続けて住みたいと思う理由は、「長年住みなれているから」（571 人、34.3%）、「友人・知人・親戚が多いから」（244 人、14.6%）が続き、最も少ないのは「教育環境がよいから」（15 人、0.9%）でした。
・転居したい理由の上位に「交通の便が悪いから」、85 人、27.0%や「生活環境が悪いから」、61 人、19.4%が挙げられています。
・「市政に関心がある人」は 649 人、61.2%であり、市政に関心がある理由は、「自分の暮らしに直接関係があるから」とする理由が 436 人、65.9%となっています。
・「市政に関心がない人」のうち 192 人、44.0%は、「個人の意見が行政に反映されにくいと思うから」とする理由を挙げています。
・本市の行政運営に対して望むことは、「無駄の削減などの行政改革や健全な財政運営」を望む人が 740 人、24.6%と最も多くなっています。
・今後の行政サービスのあり方については、「行政サービスの水準は上げて欲しいが、負担が増えるなら現在と同じ程度でよい」とする意見が最も多く、次いで、「行政サービスの水準が多少低下しても、税などの市民負担は軽い方がよい」とする意見が多くなっています。

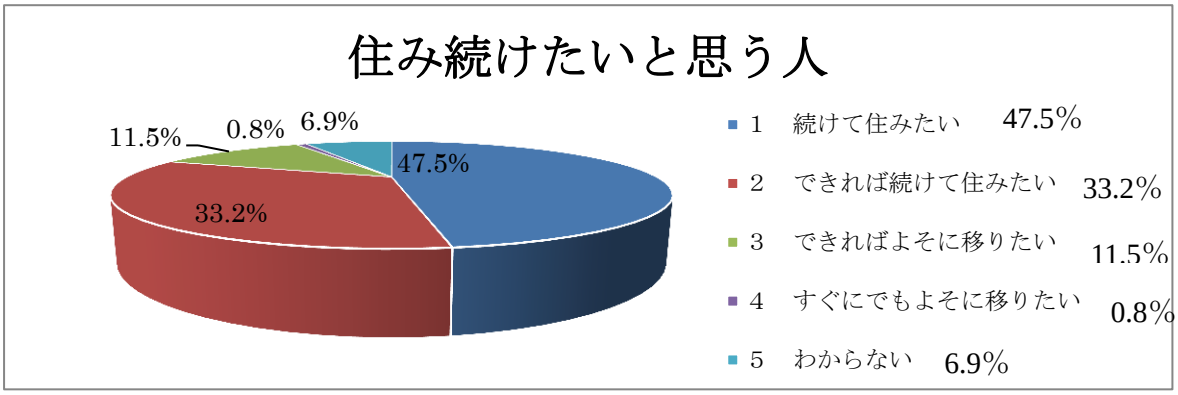
問１　熊谷市の住みごこちはどうですか。

1　住みやすい	326	4　住みにくい	45
2　どちらかといえば住みやすい	530	5　わからない	42
3　あまり住みやすくない	131		



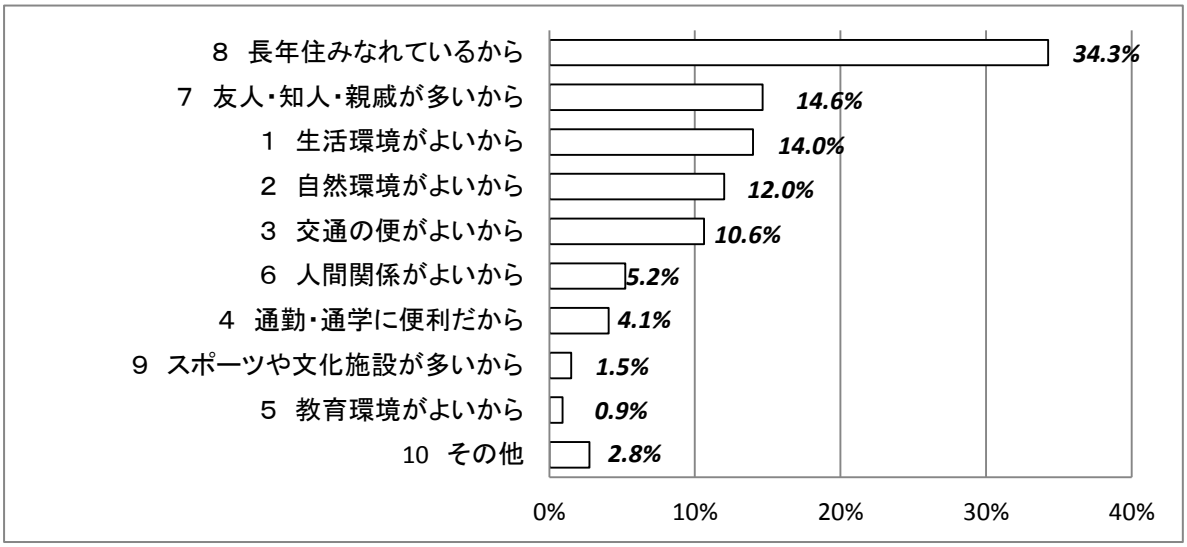
問２　あなたは、熊谷市にこれからも住み続けたいと思いますか。

1　続けて住みたい	510	4　すぐにでもよそに移りたい	9
2　できれば続けて住みたい	357	5　わからない	74
3　できればよそに移りたい	124		



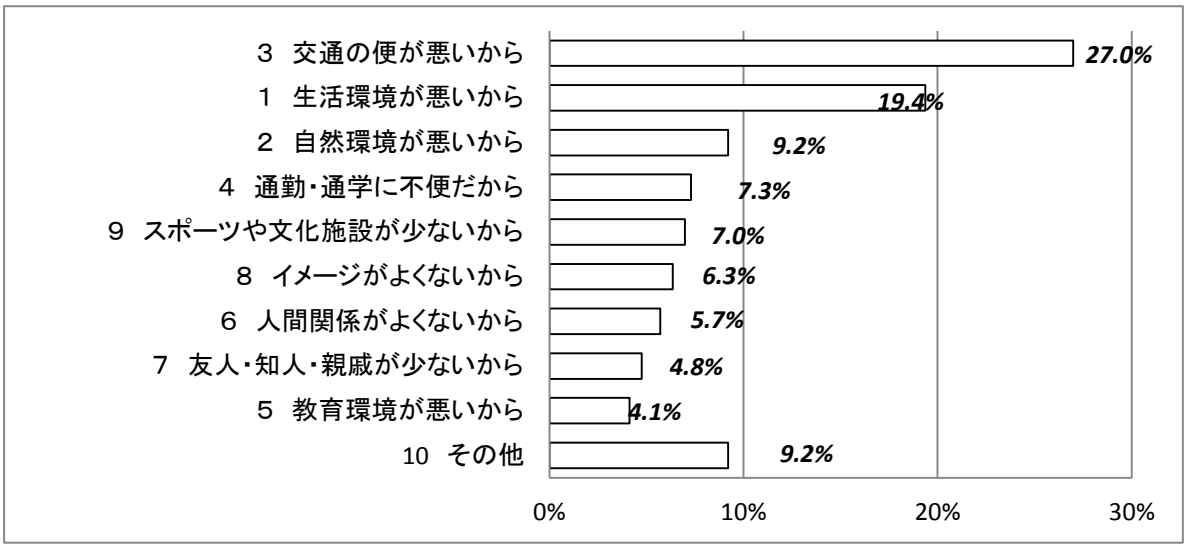
問２－１　続けて住みたいと思う理由は何ですか。２つまで選んでください。

1　生活環境がよいから	233	6　人間関係がよいから	87
2　自然環境がよいから	200	7　友人・知人・親戚が多いから	244
3　交通の便がよいから	177	8　長年住みなれているから	571
4　通勤・通学に便利だから	68	9　スポーツや文化施設が多いから	25
5　教育環境がよいから	15	10　その他	46



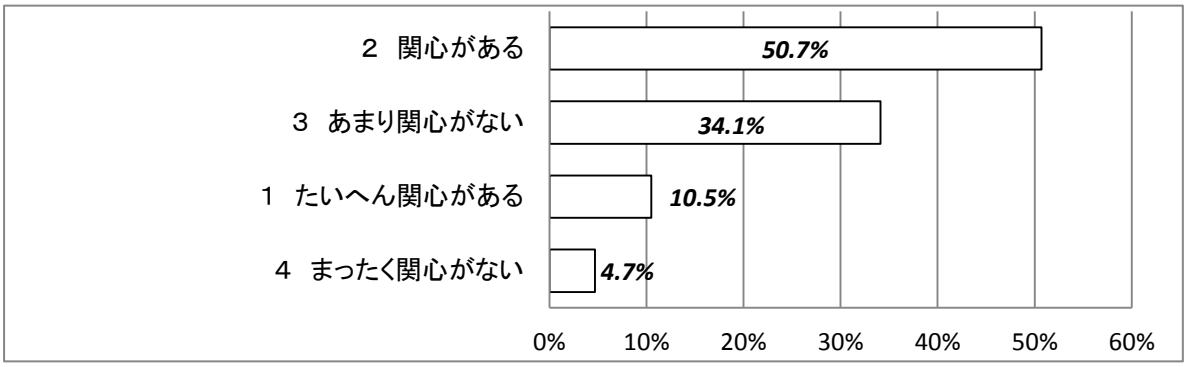
問２－２　よそに移りたいと思う理由は何ですか。２つまで選んでください。

1　生活環境が悪いから	61	6　人間関係がよくないから	15
2　自然環境が悪いから	23	7　友人・知人・親戚が少ないから	22
3　交通の便が悪いから	85	8　イメージがよくないから	13
4　通勤・通学に不便だから	29	9　ｽﾎﾟｰﾂや文化施設が少ないから	20
5　教育環境が悪いから	18	10　その他	29



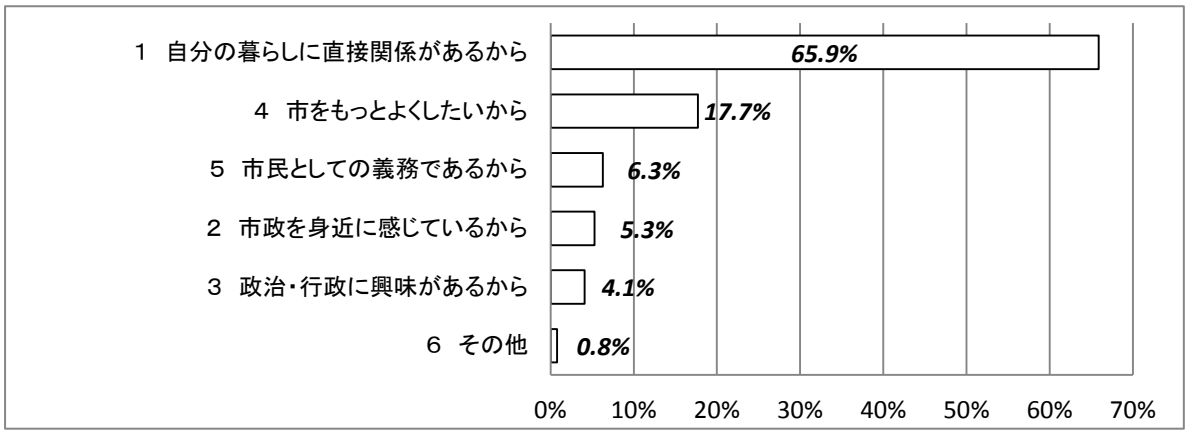
問３　あなたは、市政について関心がありますか。１つ選んでください。

1　たいへん関心がある	111
2　関心がある	538
3　あまり関心がない	362
4　まったく関心がない	50



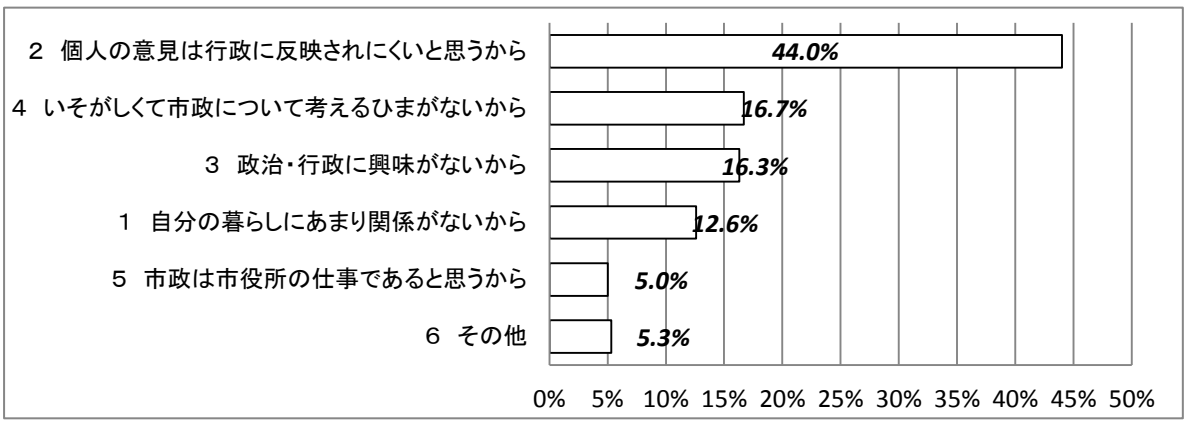
問３－１　市政に関心があるのはどんな理由からですか。１つ選んでください。

1　自分の暮らしに直接関係があるから	436
2　市政を身近に感じているから	35
3　政治・行政に興味があるから	27
4　市をもっとよくしたいから	117
5　市民としての義務であるから	42
6　その他	5



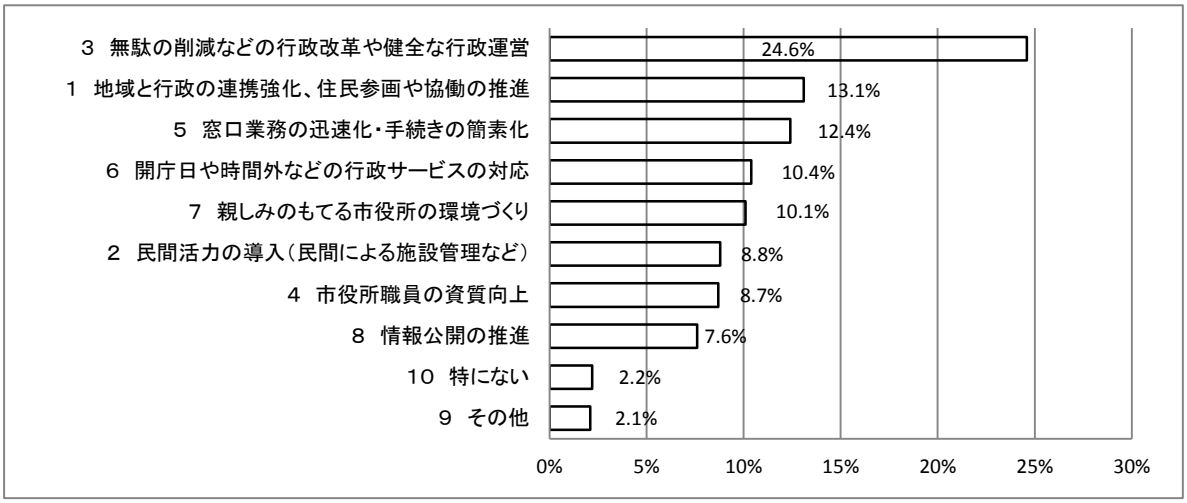
問３－２　市政に関心がないのはどんな理由からですか。１つ選んでください。

1　自分の暮らしにあまり関係がないから	55
2　個人の意見は行政に反映されにくいと思うから	192
3　政治・行政に興味がないから	71
4　いそがしくて市政について考えるひまがないから	73
5　市政は市役所の仕事であると思うから	22
6　その他	23



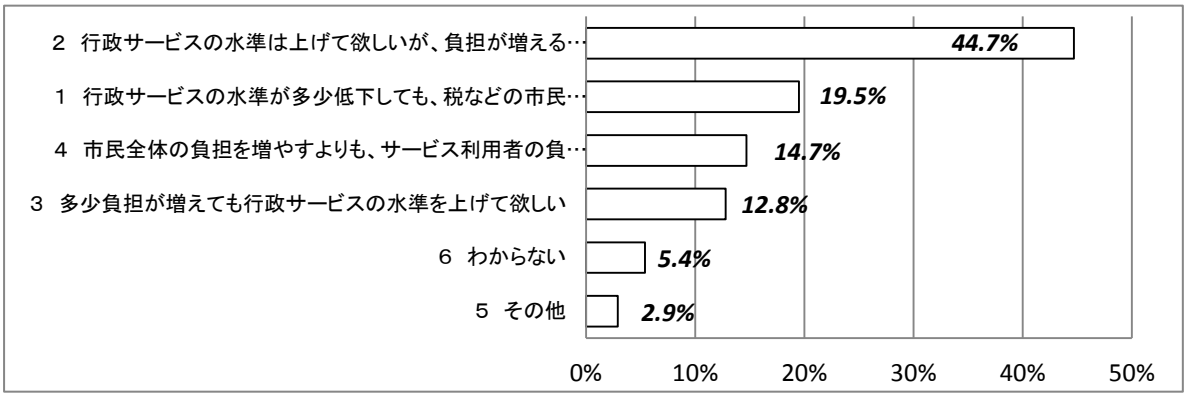
問４　あなたは、熊谷市の行政運営に対して特にどのようなことを望みますか。３つ選んでください。

１　地域と行政の連携強化、住民参画や協働の推進	393	６　開庁日や時間外などの行政サービスの対応	313
２　民間活力の導入（民間による施設管理など）	265	７　親しみのもてる市役所の環境づくり	303
３　無駄の削減などの行政改革や健全な行政運営	740	８　情報公開の推進	228
４　市役所職員の資質向上	262	９　その他	62
５　窓口業務の迅速化・手続きの簡素化	371	１０　特にない	66



問５　今後の行政サービスのあり方について、あなたの意見に近いものはどれですか。

１　行政サービスの水準が多少低下しても、税などの市民負担は軽い方がよい	206	４　市民全体の負担を増やすよりも、サービス利用者の負担を増やしたほうがよい	155
２　行政サービスの水準は上げて欲しいが、負担が増えるなら現在と同じ程度でよい	472	５　その他	31
３　多少負担が増えても行政サービスの水準を上げて欲しい	135	６　わからない	57



問６　熊谷の宝として全国に発信できるものは、どのようなものがありますか。１つ記入してください。

集計表（複数回答があったもの）

No.	内容	人数	No.	内容	人数
1	歓喜院聖天堂	137	21	歴史	5
2	うちわ祭	124	22	荻野吟子	4
3	ラグビー・ラグビータウン	38	23	熊谷花火大会	4
4	桜・桜堤	35	24	食・食の安全	4
5	暑さ・熱さ	29	25	クールシェア	3
6	熊谷次郎直実	29	26	生活環境の良さ	3
7	五家宝	26	27	いなり寿司	2
8	災害が少ない	22	28	熊谷染	2
9	スポーツ・スポーツ施設	22	29	子育てしやすい	2
10	ムサシトミヨ	19	30	こども	2
11	熊谷寺	14	31	晴天が多い	2
12	あついぞ熊谷	12	32	文化施設	2
13	自然	12	33	ホタル	2
14	雪くま	12			
15	農業・農産物	10			
16	水	10			
17	荒川・利根川	8			
18	米・麦・小麦	8			
19	暑さ対策	7			
20	うどん	5			
21	都心に近い	5			

Ⅱ市民生活についておたずねします（経年比較結果）

肯定（「はい」）の割合	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	後期目標値
「ミニくま」を知っている	34.9	33.9	30.8	28.2	70
「雪くま」を知っている	89.0	90.4	91.3	91.3	95
校区連絡会や自治会などが行う地域コミュニティ活動に参加している	50.6	49.1	49.3	53.1	50
人権尊重の意識が向上している	54.8	59.3	53.8	54.5	60
男女共同参画が進んでいる	40.6	39.1	38.8	44.3	55
地域防災計画を知っている	37.7	37.6	37.0	46.2	50
避難すべき避難場所を知っている	85.6	86.1	84.6	86.7	100
子育てがしやすいと思う	55.0	58.2	55.4	57.1	70
自分自身が健康である	74.5	76.3	73.8	74.0	80
自然環境を大切にする活動に参加している	16.4	15.7	16.5	14.6	40
熊谷市は星がよく見え、空がきれいだ	65.9	67.3	63.3	66.5	80
マイバッグを利用している	58.6	62.0	61.1	59.2	65
省エネ活動や、ごみの分別・減量を実践している	89.3	91.0	87.4	87.3	97
熊谷駅周辺がにぎやかだと思う	32.4	31.6	31.4	30.2	40
熊谷の景観を美しいと思う	47.9	48.5	48.1	50.0	52
ユニバーサルデザインのまちづくりが進んでいる	14.9	15.2	14.8	15.2	50

肯定(「はい」)の割合	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	後期目標値
生活道路に満足している	48.0	48.4	45.3	42.9	50
公共交通に満足している	45.8	49.5	44.3	41.6	55
水道水のおいしさに満足している	60.7	61.6	60.6	63.2	65
ノーマライゼーションについて理解している	62.9	65.1	64.9	65.7	80
定期的にスポーツに親しんでいる	31.3	34.9	32.6	34.1	55
「市報くまがや」の読みやすさに満足している	69.9	69.1	68.5	69.6	80
市の施設が利用しやすいと思う	51.5	51.5	50.1	51.1	70
自治基本条例を制定していることを知っている	14.3	15.8	13.5	13.5	ー
パブリックコメントなどが行われていることを知っている	10.7	13.2	12.3	12.8	ー
自宅周辺の緑について満足している	ー	63.4	62.1	62.5	ー

（単位：%）

後期目標値に対する達成度が高い項目としては、「校区連絡会や自治会などが行う地域コミュニティ活動に参加している」、「雪くまを知っている」、「水道水のおいしさに満足している」、「熊谷の景観を美しいと思う」などが挙げられます。

一方、達成度の低い項目としては、「ユニバーサルデザインのまちづくりが進んでいる」、「自然環境を大切にする活動に参加している」、「ミニくまを知っている」、「定期的にスポーツに親しんでいる」などが挙げられます。

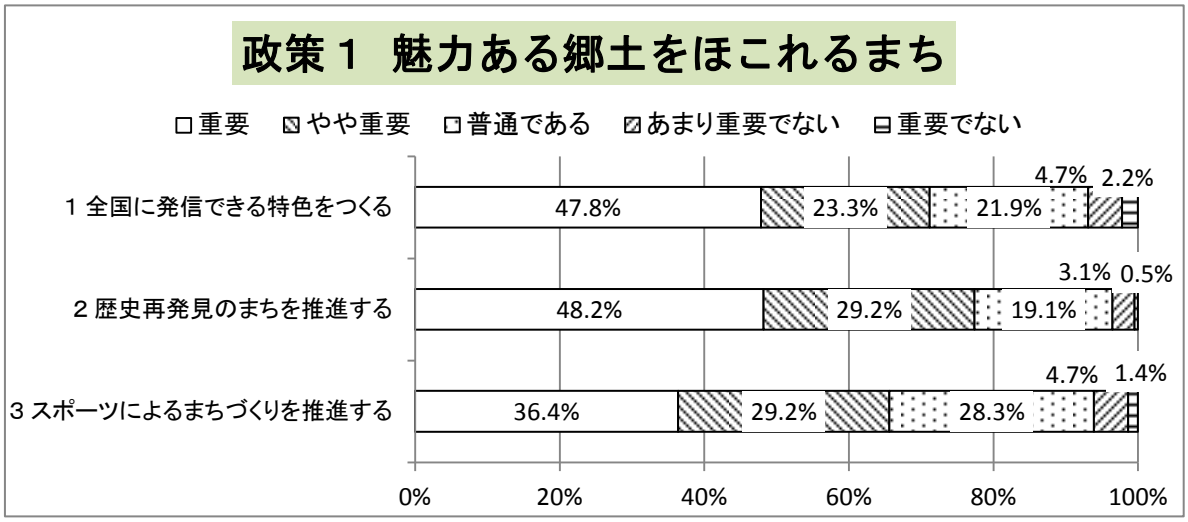
Ⅲ　施策の重要度、満足度についてうかがいます

（１）施策重要度

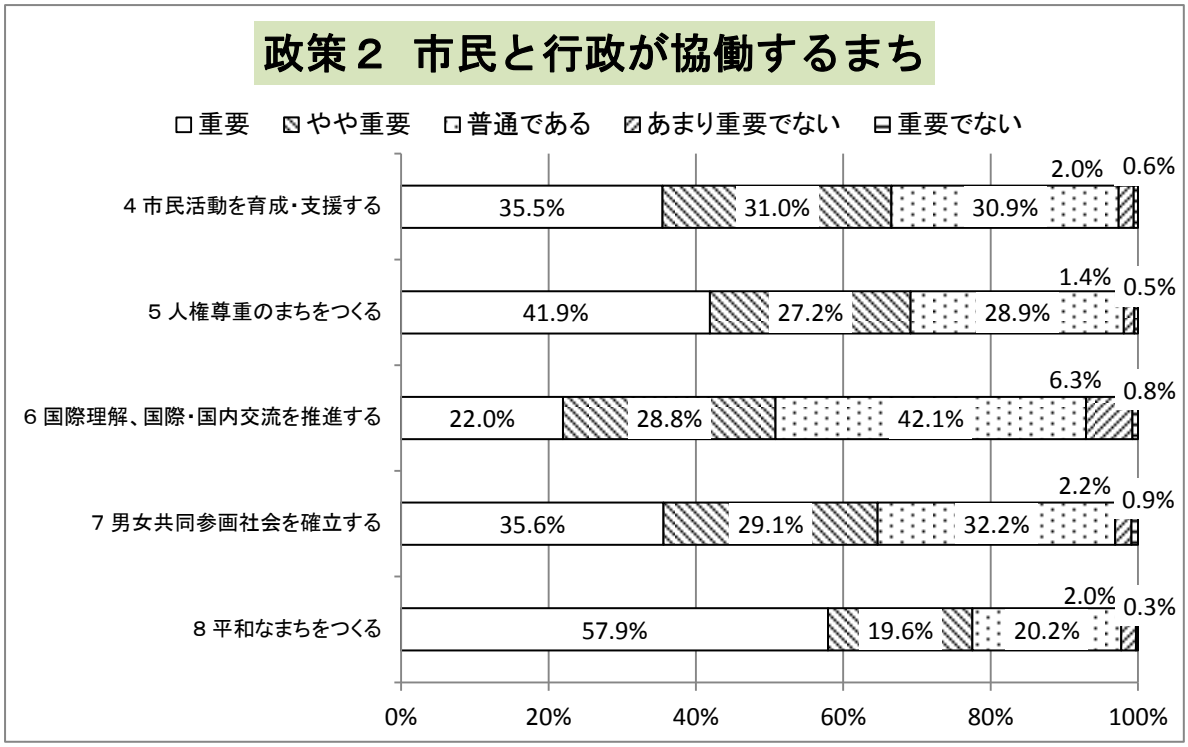
市が取り組む施策とリーディング・プロジェクトについて、分野別に各施策の重要度をみたのが次のグラフです。

重要度が高いとされた施策は、「9 犯罪の起こらない環境を整備する」、「10 災害に強いまちをつくる」、「19 医療体制を充実する」、「11 交通事故の減少・防止を図る」、「13 消防力を強化する」の順となっています。

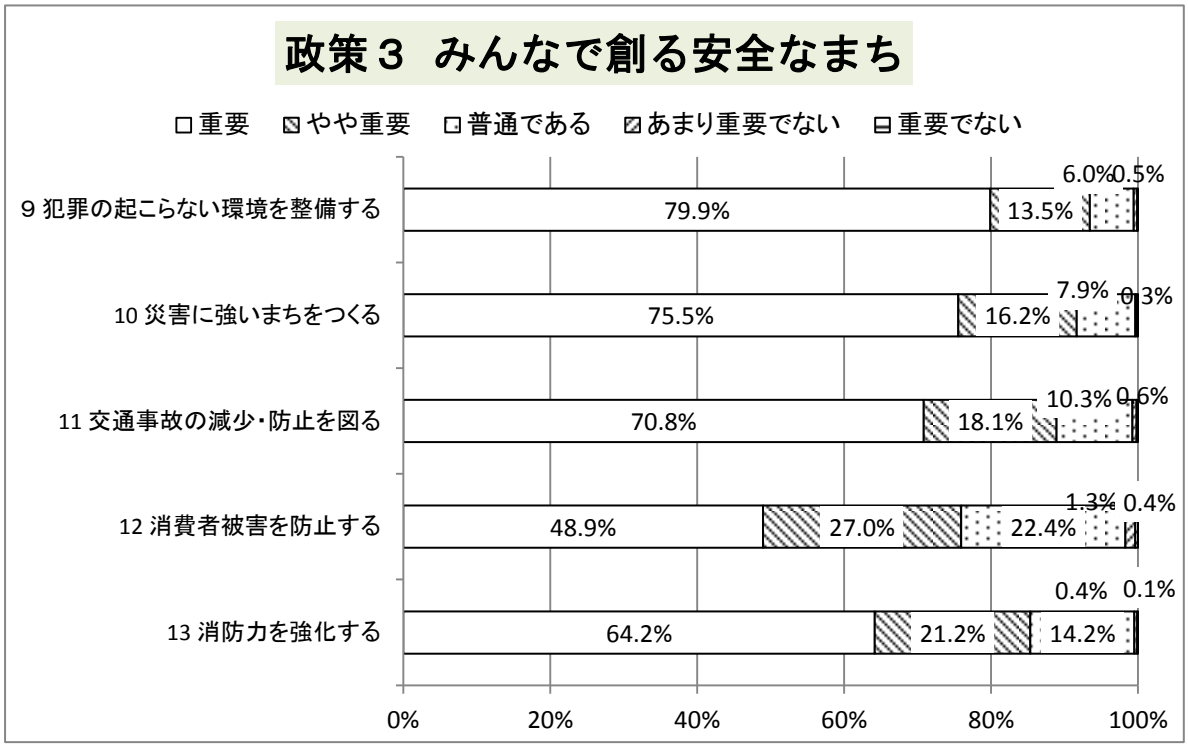
一方、重要度が低いとされた施策は、「37 安心して暮らせる市営住宅を整備する」、「6 国際理解、国際・国内交流を推進する」、「あっぱれ！熊谷流プロジェクト」「スポーツ・文化村整備プロジェクト」、「中心市街地の活力・にぎわい創出プロジェクト」の順となっています。



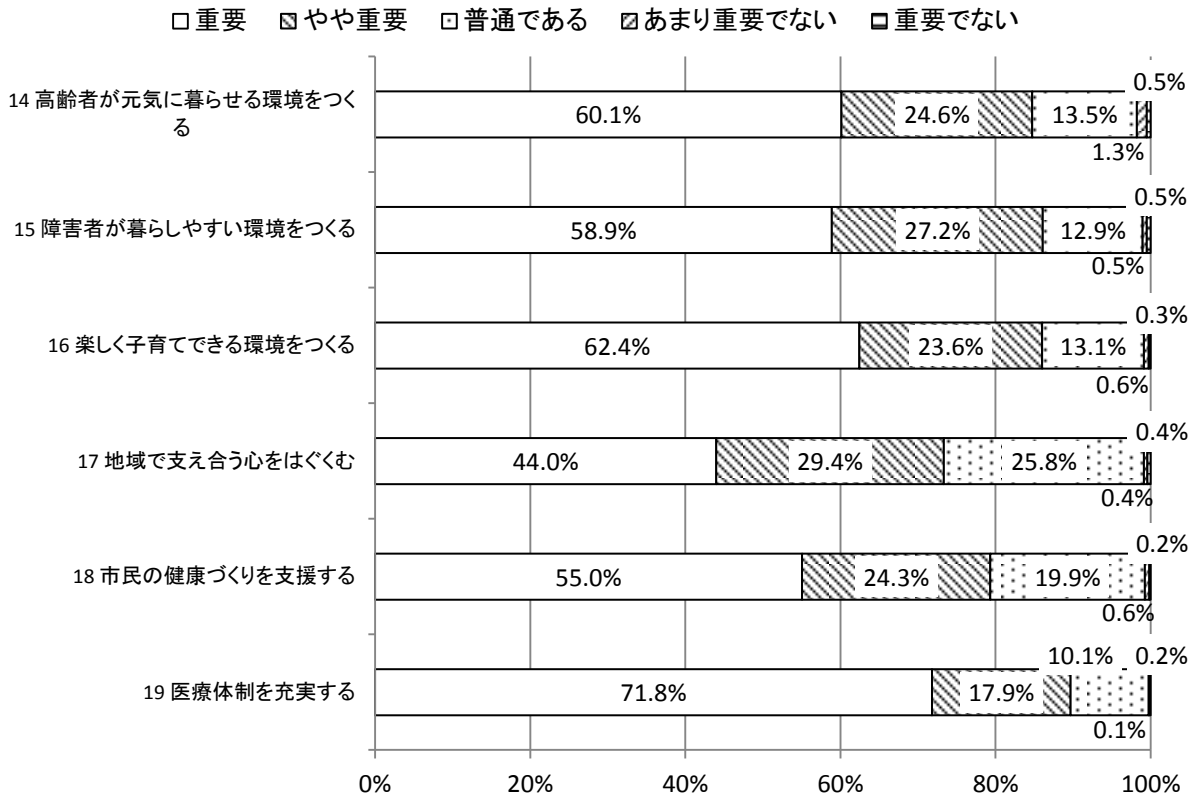
政策２ 市民と行政が協働するまち



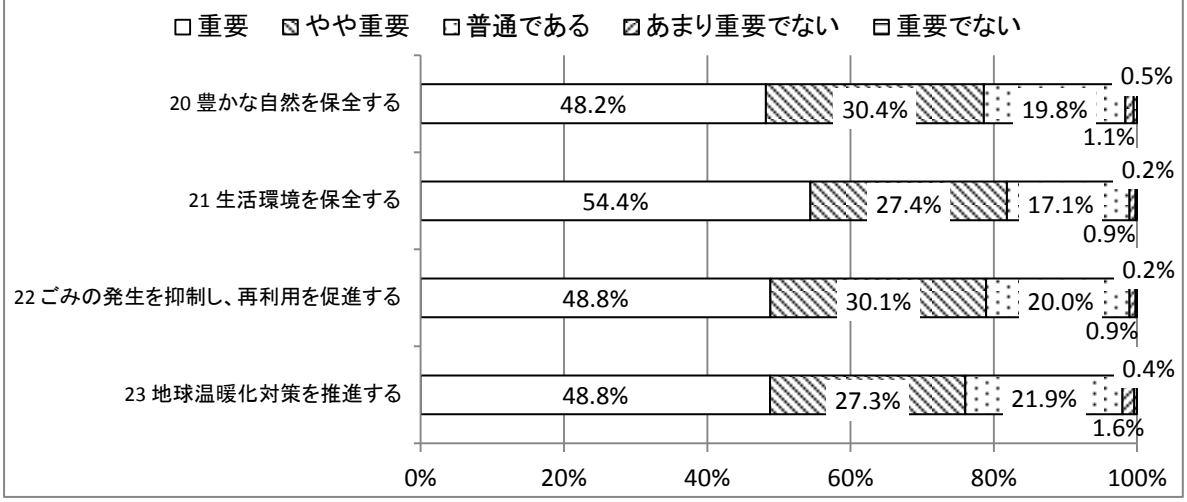
政策３ みんなで創る安全なまち



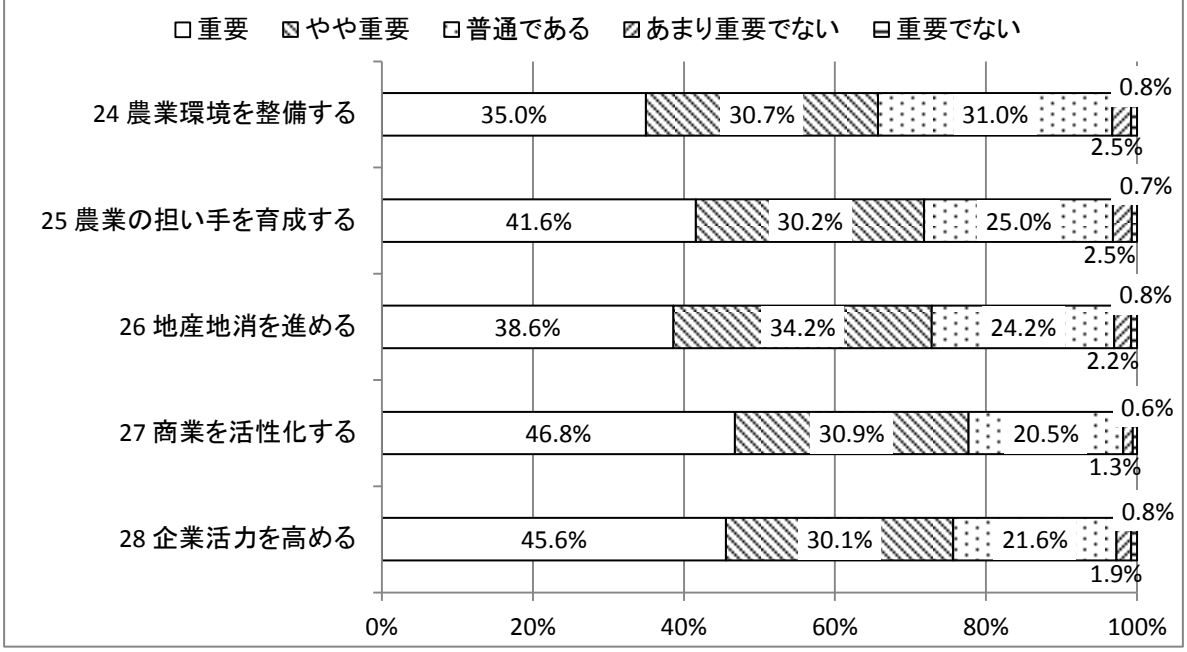
政策４　だれもが安心して健康に暮らせるまち



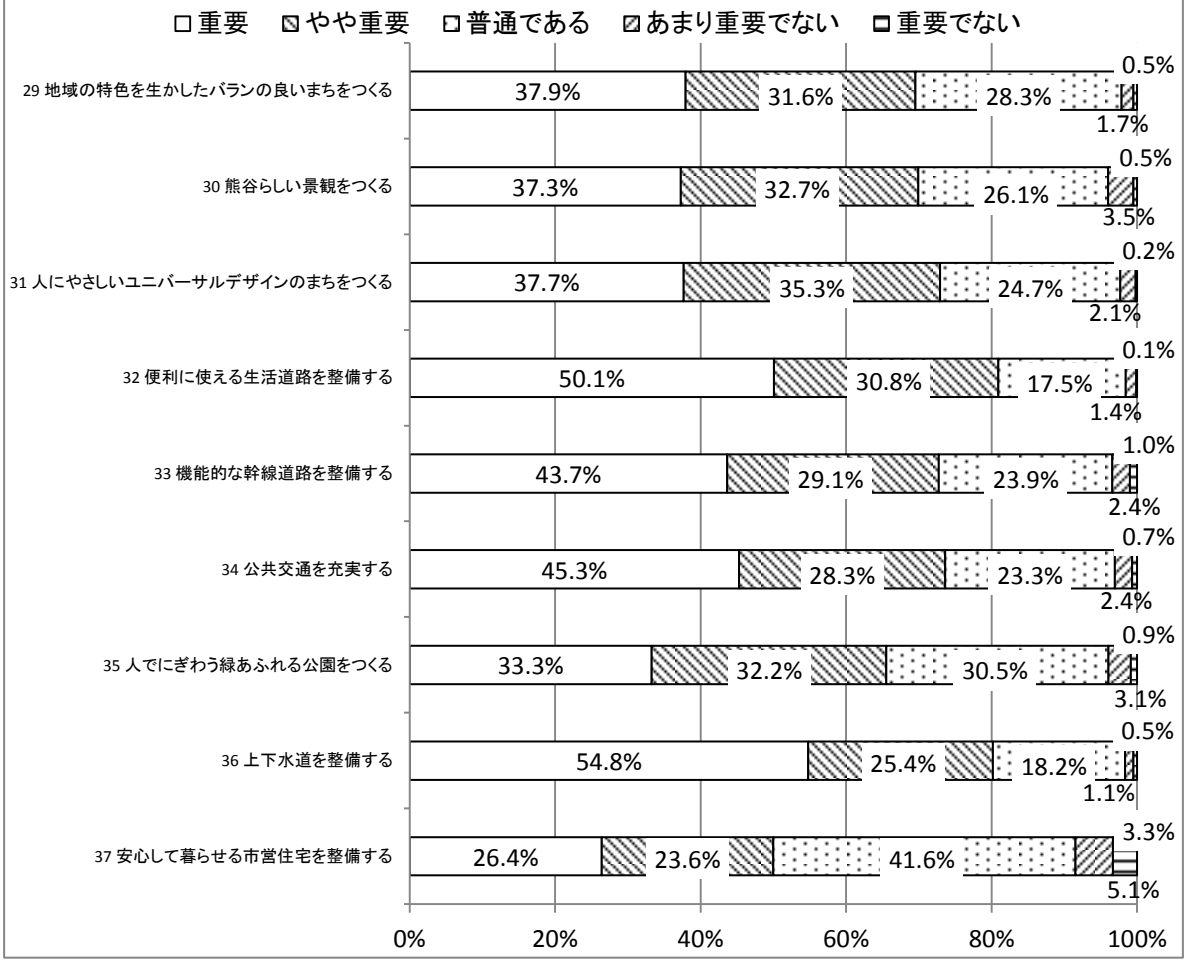
政策５　自然の豊かさがあふれるまち



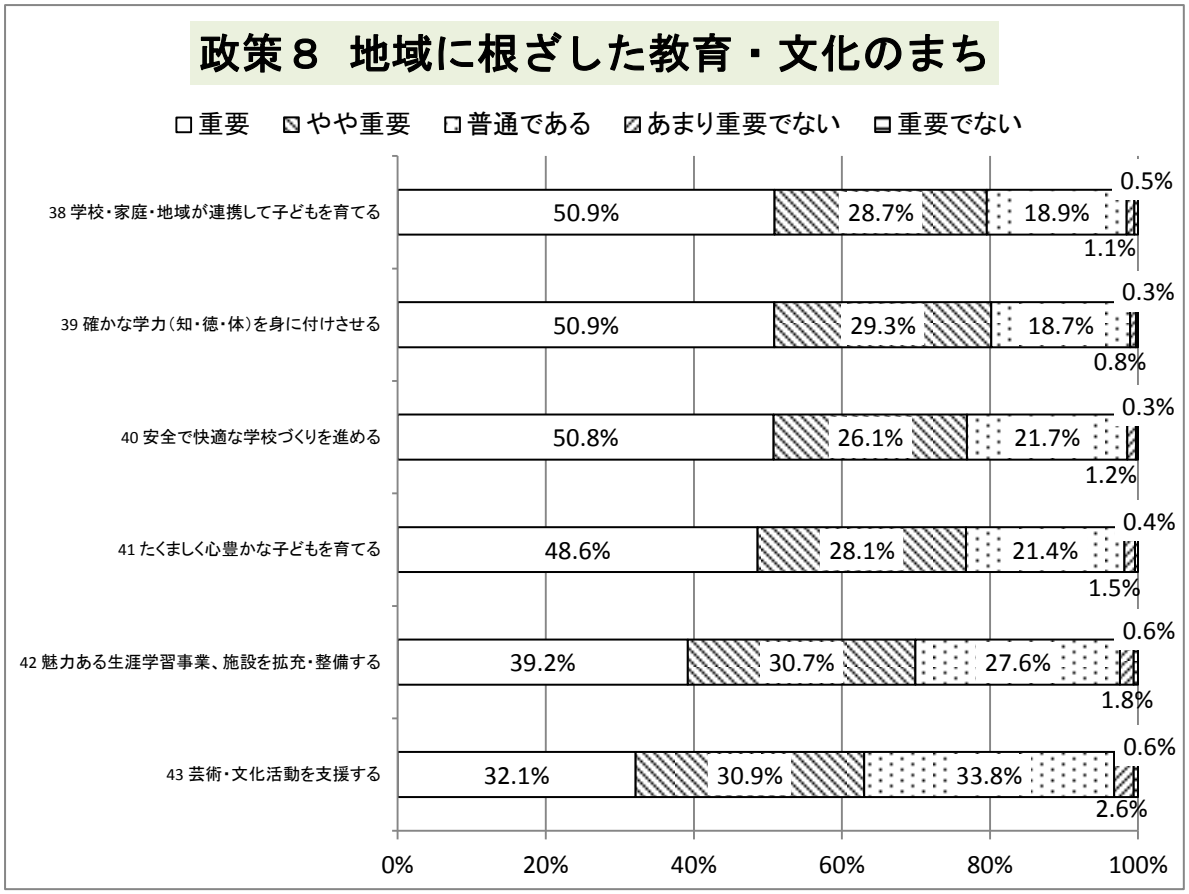
政策６　活力ある産業が育つまち



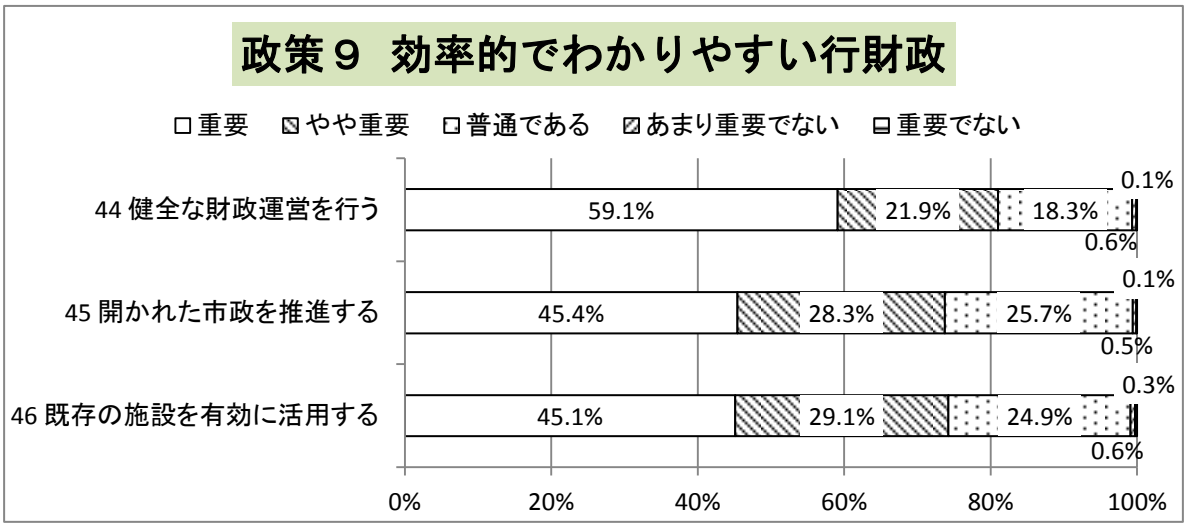
政策７　便利で快適なひとにやさしいまち

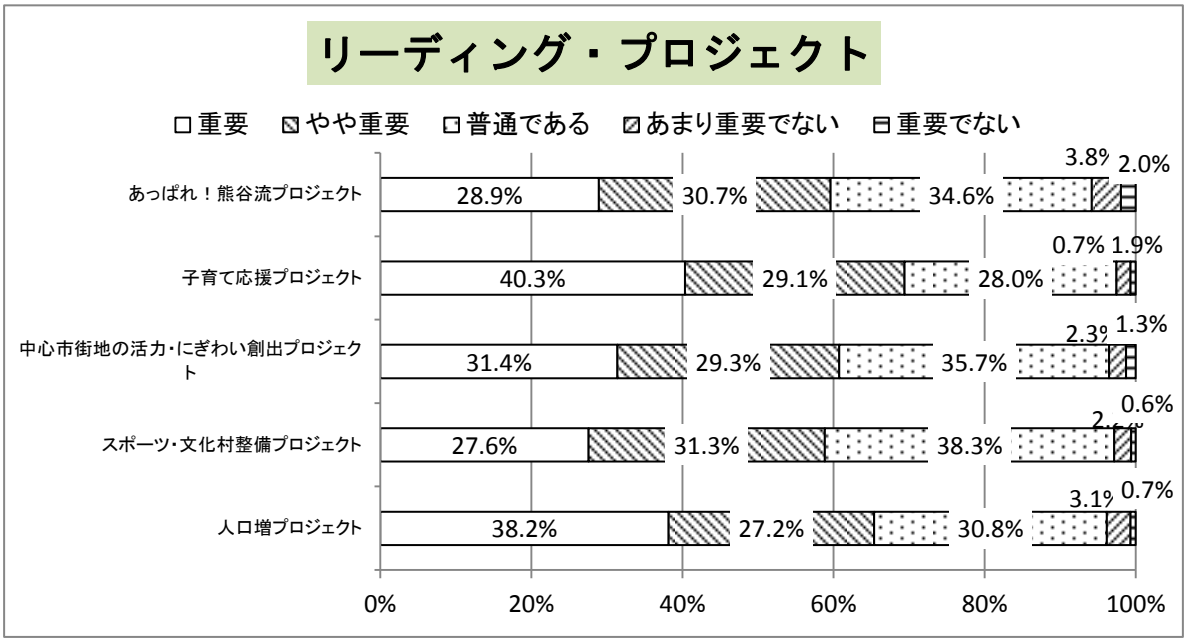


政策８　地域に根ざした教育・文化のまち



政策９　効率的でわかりやすい行財政



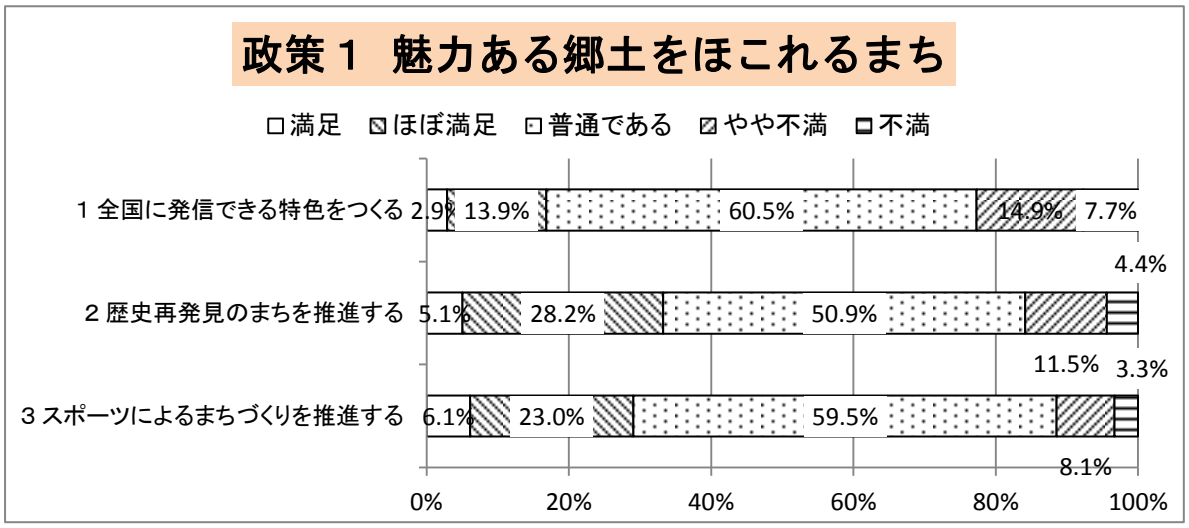

リーディング・プロジェクト
重要
やや重要
普通である
あまり重要でない
重要でない
あっぱれ！熊谷流プロジェクト
28.9%
30.7%
34.6%
3.8%
2.0%
子育て応援プロジェクト
40.3%
29.1%
28.0%
0.7%
1.9%
中心市街地の活力・にぎわい創出プロジェクト
31.4%
29.3%
35.7%
2.3%
1.3%
スポーツ・文化村整備プロジェクト
27.6%
31.3%
38.3%
0.6%
人口増プロジェクト
38.2%
27.2%
30.8%
3.1%
0.7%
0%
20%
40%
60%
80%
100%

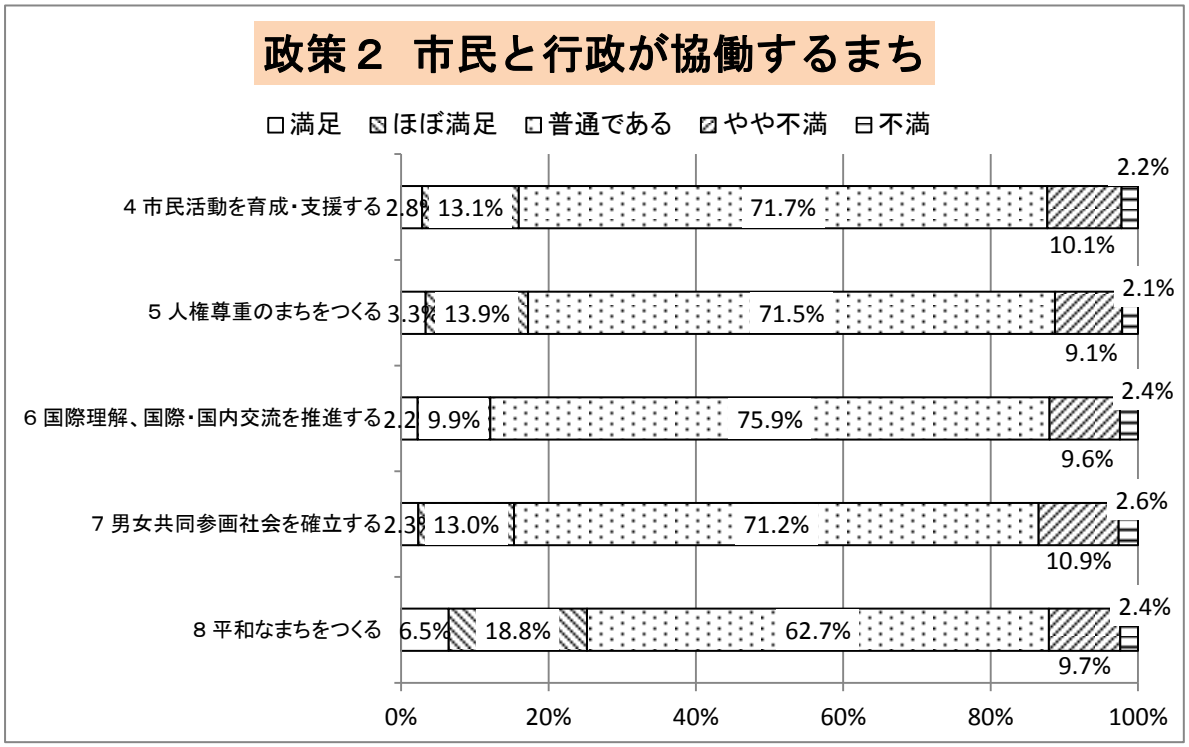
（２）施策満足度

市が取り組む施策とリーディング・プロジェクトについて、分野別に各施策の満足度をみたのが次のグラフです。

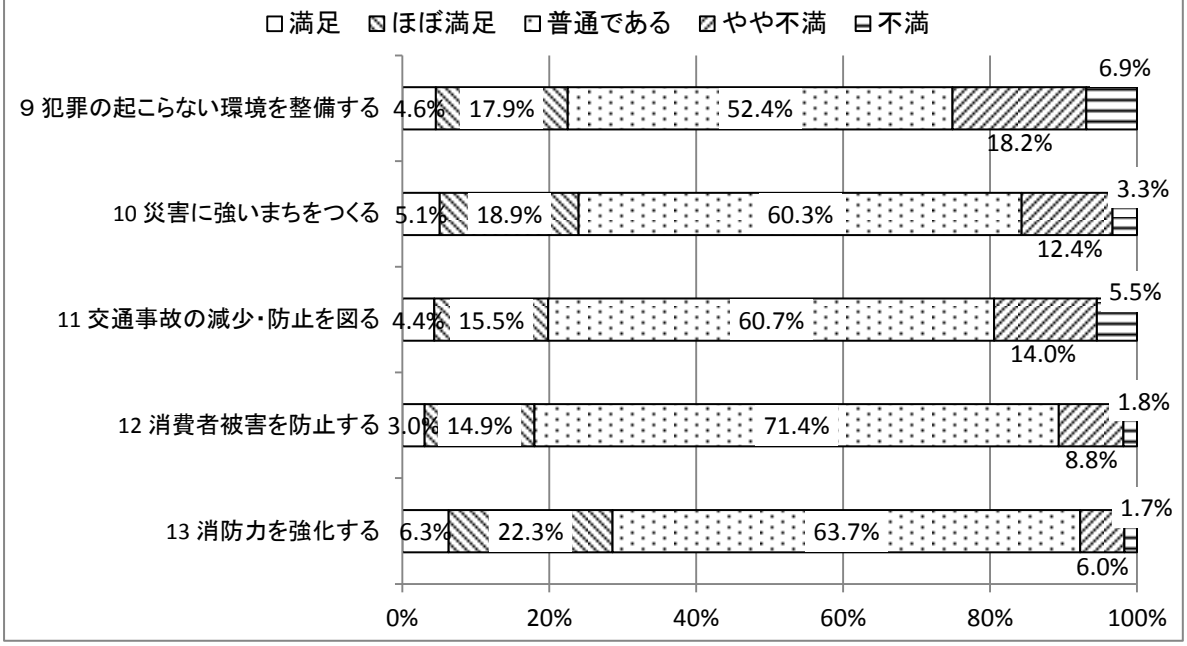
満足度が高いとされた施策は、「13 消防力を強化する」、「18 市民の健康づくりを支援する」、「3 スポーツによるまちづくりを推進する」、「2 歴史再発見のまちを推進する」、「8 平和なまちをつくる」の順となりました。

一方、満足度が低いとされた施策は、「27 商業を活性化する」、「28 企業活力を高める」、「34 公共交通を充実する」、「中心市街地の活力・にぎわい創出プロジェクト」、「32 便利に使える生活道路を整備する」の順となっています。

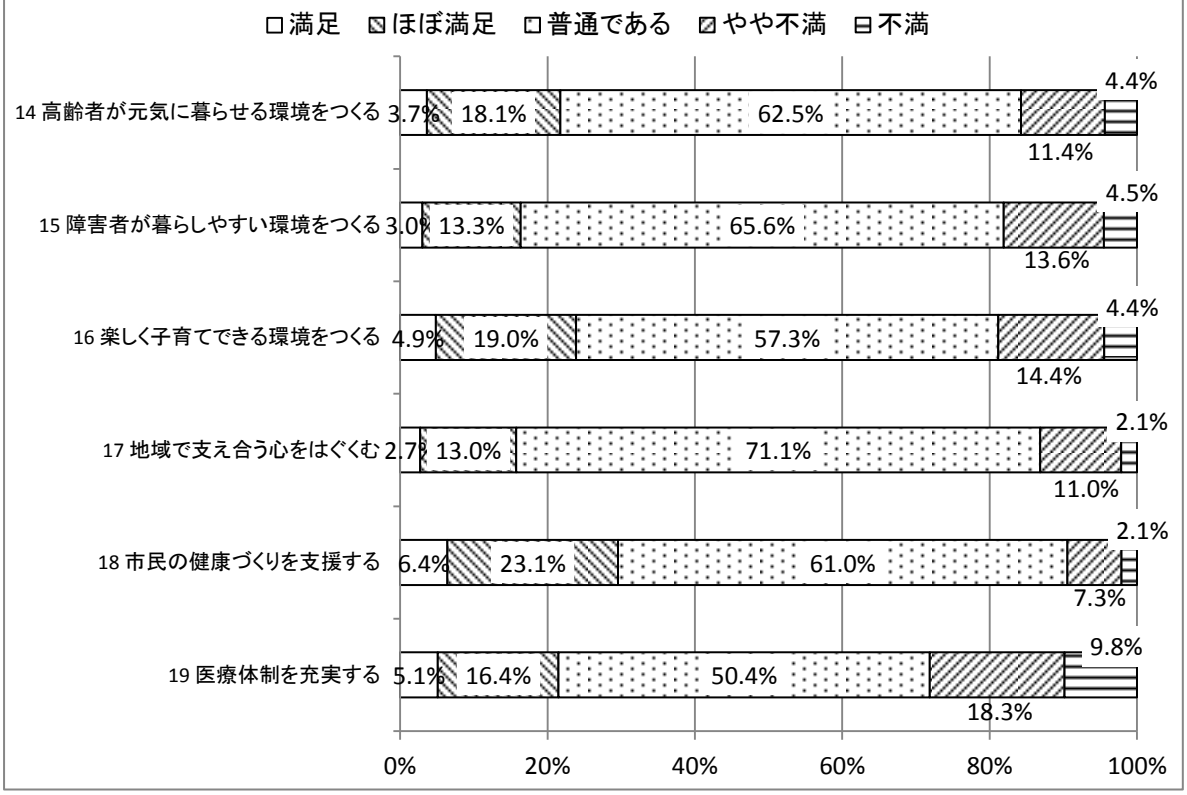




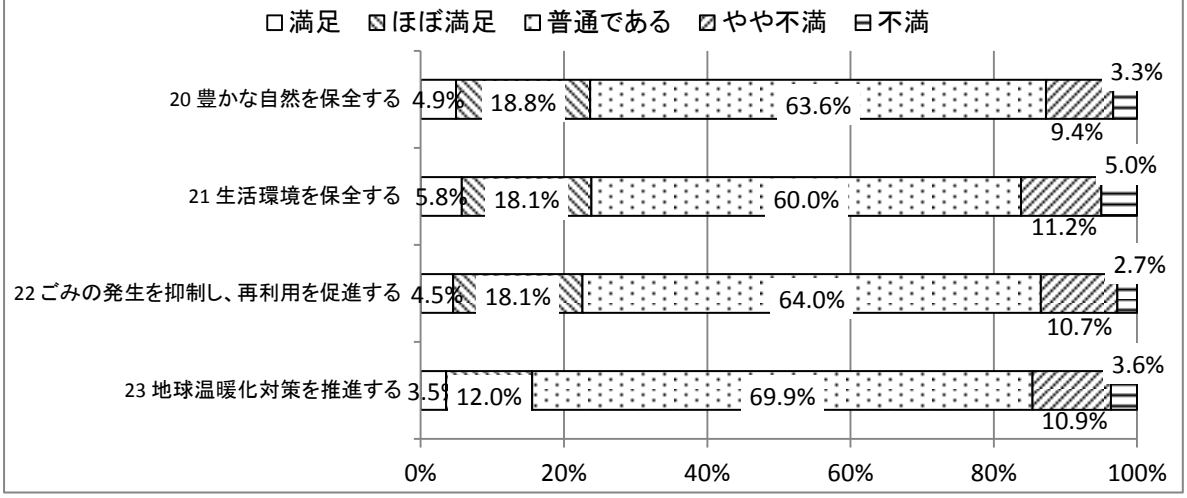
政策３　みんなで創る安全なまち



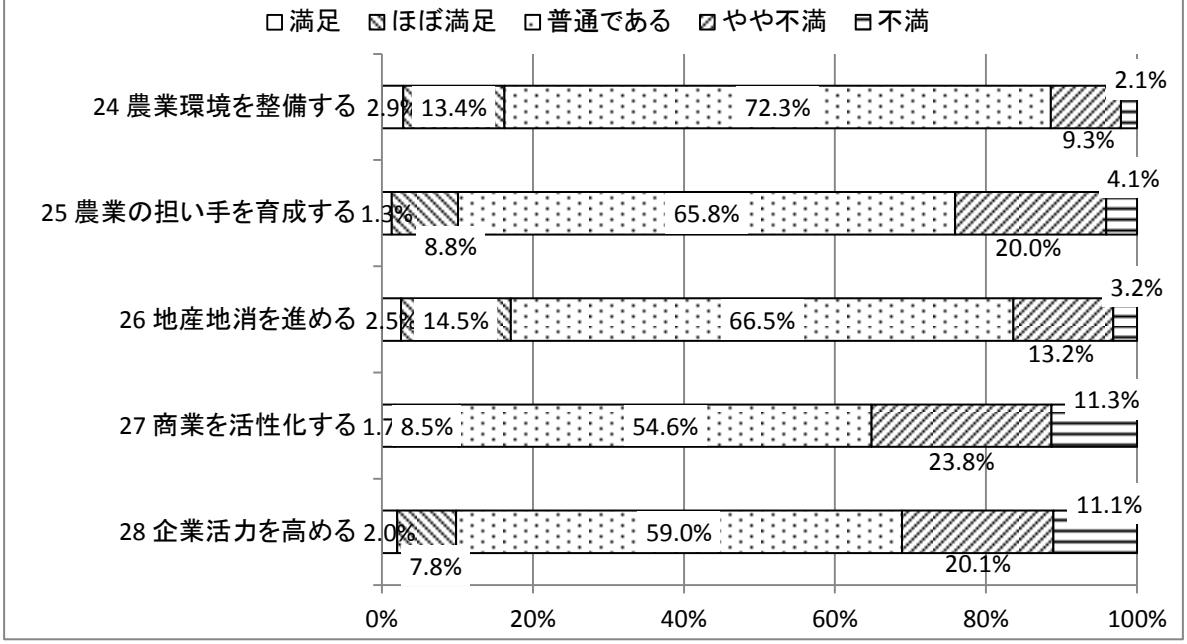
政策４　だれもが安心して健康に暮らせるまち



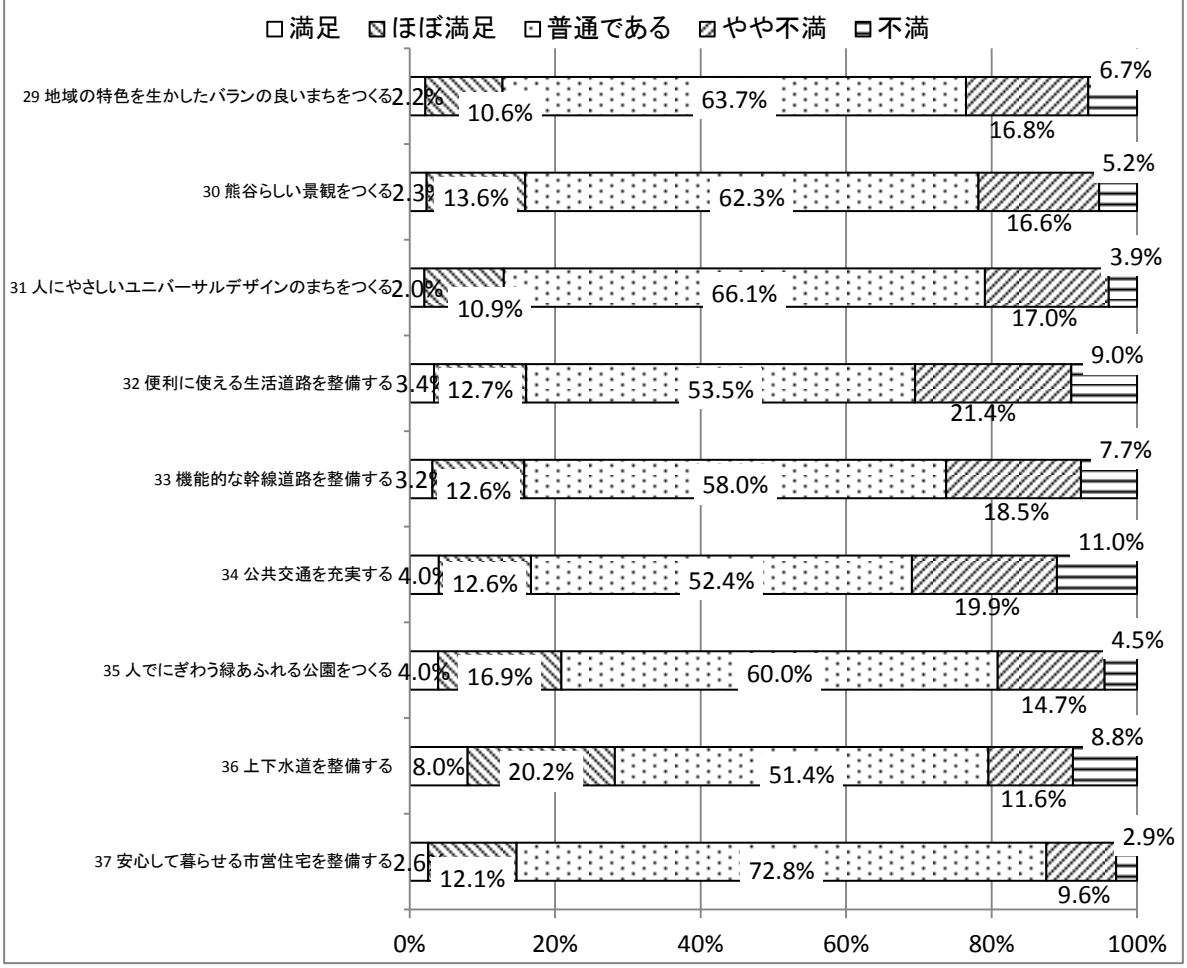
政策５　自然の豊かさがあふれるまち



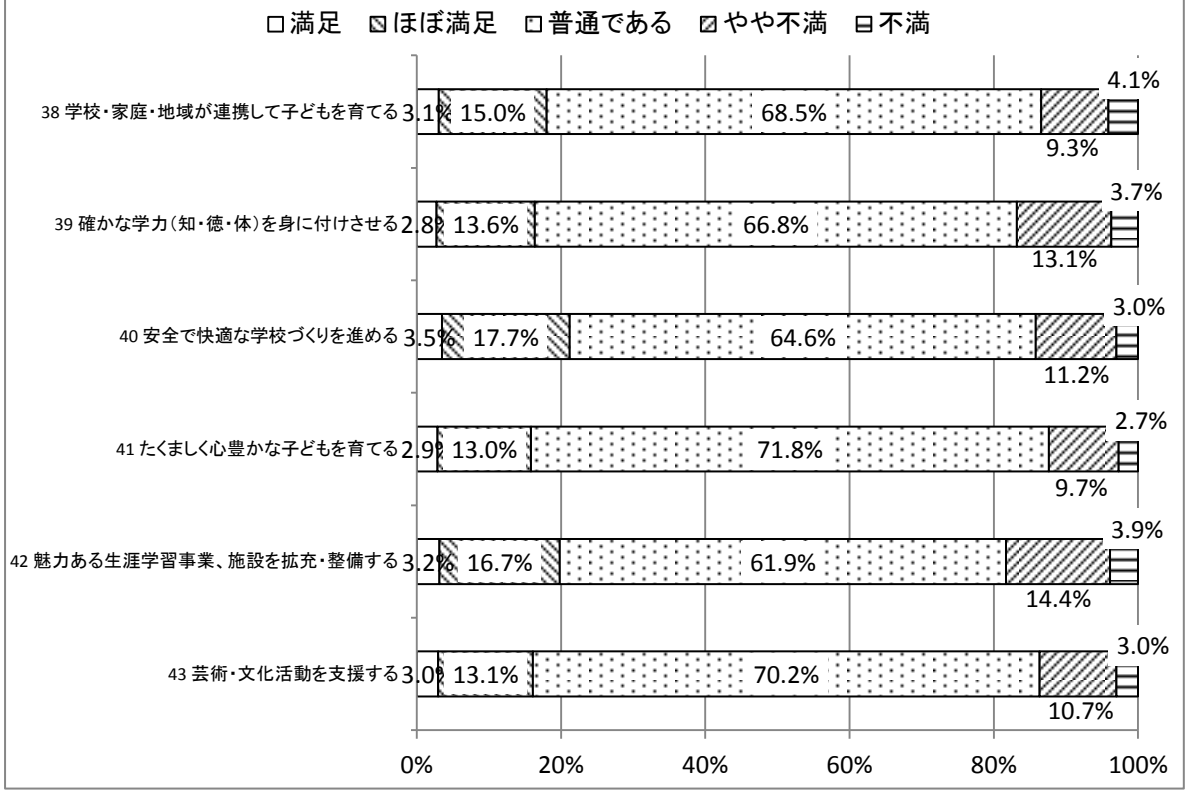
政策６　活力ある産業が育つまち



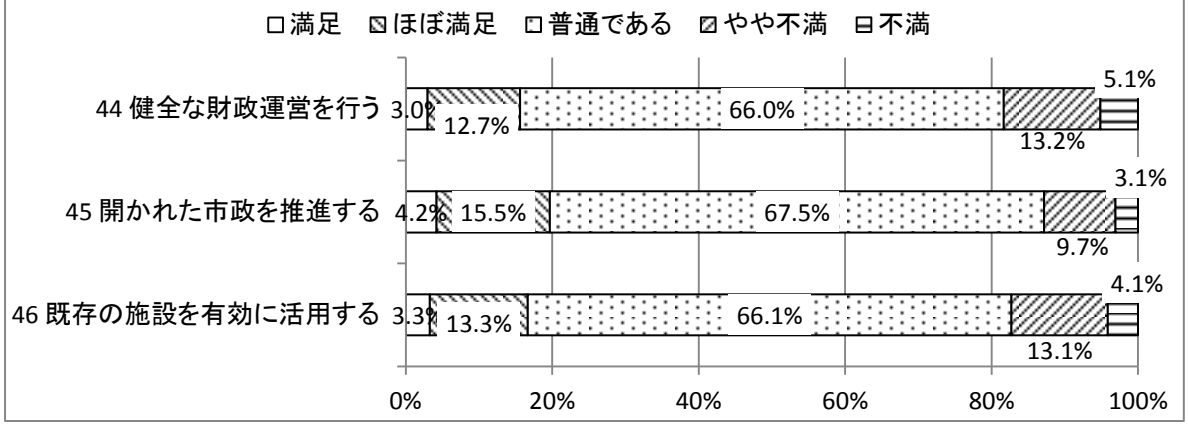
政策７　便利で快適なひとにやさしいまち



政策８　地域に根ざした教育・文化のまち



政策９　効率的でわかりやすい行財政



リーディング・プロジェクト

